事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　5年　5月　15日

事業所名　運動発達支援スタジオ　笑みりぃ～羽曳野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	訓練室には不要なものを設置せず十分なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	やることリストやロッカーの色など、視覚的に分かりやすくしています。	玄関に段差があるので色テープを貼り視覚的に分かりやすく改善します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	換気やプログラム終了ごとにフロアの消毒をしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	83%	17%		PDCAサイクルを意識した支援ができるよう、定期的に職員に声掛けをしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表はホームページに掲載しています。	保護者様からのご意見へはこれからも迅速な対応ができるよう心がけてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	83%	17%	ホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	相談支援員さんや役所関係の方の訪問や見学などを受け、情報交換をさせていただきます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	必ず面談を実施し、保護者様からのお声を聞き取り、必要とされる支援を一緒に考え、お子様や保護者様のニーズをくみ取り作成するよう心がけていま	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	アセスメントシートにて職員と共有しています。	全ての職員がお子様の状況をしっかりと評価できるように情報共有をしていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	『児童発達支援』『家族支援』『地域支援』の項目を設定し、支援内容を記載しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	計画書を確認しながら支援にあたっています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	職員全員で協力しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	新種目などを取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	朝礼で当日の利用者さんを確認し、支援内容を共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼で当日の振り返りを行い、支援内容を確認し共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援内容を記録し、保護者様とも共有し支援記録を個人ファイルで管理しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に支援会議を開き、お子様の状況を共有しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス担当者会議に必ず参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	電話などで情報共有しています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当児がいません。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当児がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	園への見学などに出向いたり、来所いただいたりしています。	積極的に連携が取れるよう努めてまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	保護者さん承諾のもと、園への見学、送迎時などに情報共有などを行い、先生方と連携を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	他事業所の見学や電話などで様子をお聞きし情報共有しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		固定されたプログラム内容なので、そのような機会を設けることが難しい状況ですが、実現できるよう努めてまいります。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%	はびネットの定例会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートや送迎時にお話しさせていただき、必要に応じて電話で報告をさせていただいています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	67%	33%	保護者様からの相談ごとなど、その場で対応させて頂いたり、一度事業所に持ち帰り職員間で共有し、保護者様に返答させていただいています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時と必要に応じて、説明させていただいています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	個別計画書には同意の上、必ず捺印をいただいております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	半年ごとの面談と、必要に応じて保護者様とお話をさせていただいています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	年に1回、保護者会を開催しています。	今年度も開催を予定しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	お子様や保護者様からの申し入れなどに対して、迅速に対応させていただき、問題解決へと繋げています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	ブログやインスタグラムなどで活動内容を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	厳重に管理させていただいています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	発語のないお子様とは視覚支援(絵カードやあいうえお表など)を用いて意思疎通を図っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%		そのような機会を設けることができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各種マニュアルを策定し、社内研修で定期的に職員間への周知を行っております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回、訓練を行っております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	てんかん発作などに対応できるよう個人的なマニュアルを策定しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	イベントなどで食べ物を食べる際は、必ず保護者様に確認を行っております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	何かあった場合はヒヤリハットを記入し、職員間で情報共有を行っております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		該当する利用児さんはいませんが、身体拘束のマニュアルをもとに必要であれば、保護者様に相談後、個別支援計画書に記載し同意書をご記入いただいた上で、実施、経過、記録をします。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。